



ふ 第46回東京厚岸会 ふるさとに思いをさせて

2月21日、首都圏近郊に住む本町出身者など、厚岸にゆかりのある人が集う『第46回東京厚岸会』（宗石亨会長）が、東京都千代田区内のホテルで開催され、会員と来賓合わせて100人が参加しました。

『ふるさとを語ろう！』が今年のテーマ。ふるさとを語るスピーチや『厚岸音頭』の合唱、厚岸の特産品が贈られる大抽選会が行われ、遠く離れたふるさとへの思いを、時間を忘れるほど熱く語りあいました。

ト ヘルシー教室 マトで作るみそ汁？

1月26日、保健福祉総合センターで『ヘルシー教室』が開催され、19人が参加しました。

この日の講座のテーマは『脂質異常症予防』。年齢を重ねるにつれ、血液中のコレステロールや中性脂肪などの脂質が増加する傾向にあるため、食事などから予防する方法について学びました。講座の後の調理実習では、4品を調理。トマトからだしを取るみそ汁には参加者も驚き。普段、家庭では調理しない食材の組み合わせにチャレンジしていました。



毛 厚岸味覚まつり i n サッポロファクトリー ガニもおいしい厚岸をPR

厚岸漁業協同組合主催の『厚岸味覚まつり i n サッポロファクトリー』が2月13日と14日の2日間開催されました。

今年で9回目を迎え、厚岸より直送した毛ガニ2ト、カキ2万個、サンマの加工品などの販売や、海の幸の詰め合わせの発送、〇×クイズなどのイベントも行われました。

会場は新鮮なカキや上質な毛ガニを求めて訪れた人で、長蛇の列ができるほど。厚岸湖水質浄化植樹運動募金に協力した先着300人には、毛ガニ鉄砲汁も振る舞われました。



音 サウンドコア・ライブ21 楽で冬の夜を盛り上げるぜ！

2月20日、厚岸味覚ターミナル・コンキリエで『サウンドコア・ライブ21』が行われ、厚岸翔洋高校軽音楽部と町内外のバンド5組が参加しました。

このライブは町内の音楽愛好家がつくる音楽集団サウンドコア実行委員会が主催し、今年で21回目を迎えました。活気あふれる演奏はもちろんのこと、曲と曲の間や、バンドチェンジをする間にも、さまざまなパフォーマンスで訪れた観客を盛り上げていました。



イベントや活動など、まちのニュースをお届けします



冬 第17回カキDEござ〜る のおいしいカキを満喫

2月21日、『第17回カキDEござ〜る』（同実行委員会主催）が厚岸味覚ターミナル・コンキリエで開催され、町内外からたくさんの人が訪れました。

恒例の40分間カキ食べ放題は、15人限定で2回行われ、次々に焼かれていくカキを参加者は黙々と平らげていました。

厚岸翔洋高校の生徒が調理した『カキのかきあげ丼』やカキ・アサリ・ホタテ・ホッキ・ツブの5種類が入った『五えもん鍋』などの販売、雪中宝探しやカキつかみ取りなどのイベントも行われ、厚岸の冬の味覚を味わおうと訪れた人で大盛況となりました。

男 遊びのひろば の子ども女の子も一緒にひな祭り

2月17日、子育て支援センターで遊びのひろば『おひなさま作り』が行われ、子どもと保護者55人が参加しました。

牛乳パックを利用した『いないいないばぁ〜』ができるおひなさまを一人一人作り、全員分を飾った後は、ひなまつりの歌をみんなで歌いました。

おひなさまとお内裏さまの顔の部分が切り抜いてあるボードも設置しており、順番に記念撮影をしていました。少し早いひな祭りを男の子も女の子も一緒に楽しみました。



コ 特別展『大黒島〜昼と夜の顔〜』 シジロウミツバメの生態に迫る

国指定天然記念物の大黒島海鳥繁殖地についての特別展『大黒島〜昼と夜の顔〜』が2月13日から28日まで、海事記念館で開催されました。

町内の写真愛好家宮川佳治さんが撮影した、普段知ることのできない大黒島の貴重な自然や風景の写真などを展示しました。2月20日にはスライド上映会も開催され、参加者は、大黒島の昼と夜の生態系の違いやコシジロウミツバメの生態などについて、宮川さんの解説に聞き入っていました。

